

5月14日(土)。第52回美作地区高等学校総合体育大会の開会式が、津山高校のグラウンドで開催される。晴天の下、青葉繁り風薫る最もスポーツにふさわしい季節。

選手入場のアナウンス。すこしざわついていた会場に一瞬の静寂。林野高校・江見商業高校を始めとする美作地区全高校のプラスバンド部の合同演奏。やかましいほどの迫力。

最初に入場する高校は、大原高校。両手でしっかりとプラカードを持って小淵由衣さんが先導。いつもにぎやかな彼女もすこし緊張気味。旗手は平田朋大君。団長居安麻衣さんに続いて総勢16名の堂々の入場行進。17名の在籍だが1人発熱で欠席。全員、はつらつとさわやかに高校らしく行進していた。次々に大規模校も入場して来たが、最も真剣に行進していたのは大原高校の生徒であったとひいき目ながら思う。

選手宣誓は、大原高校の居安麻衣さん。美作地区18校3,000人の選手の代表。

「宣誓。私たちは、一人ひとりが輝いて競技できるよう毎日努力してきました。私たちの夢はそれぞれ違います。しかし、その夢の実現の第一歩として、私たちを支えてくれた総ての人たちに感謝し、この美作総体に挑むことを誓います。」

全高校の旗手を従え、落ち着いて大きな声で全うする。多くの先生方から称賛の声。特に松本丘副理事長が絶賛。

出場競技は男子剣道と女子バレー。剣道は惜しくも1回戦で敗退。

バレーは昨年の美作総体で敗れている久世高校。苦戦が予想される。案の定苦しいスコア。しかし、福

島舞さんのサービスエースの連続でペースをつかむ。私も何度も観戦しているが、高校生は1年間でこんなにも上手になれるものか。井上さん・中尾さん・福島さんのスパイクも決まる。去年は考えられなかった。

大原高校 2 (25-18) 0 久世高校  
(27-25)

2回戦では、美作高校に敗れるもこの1勝は大きい。井上由季那さんの言。「1ランク上のチームだと思っていた久世高校に勝てたのは大変うれしい。苦しい練習を続けてきたことは無意味ではなかった。県総体では絶対2勝する。」

大原高校最後の美作総体。全教員・全生徒で臨んだ。堂々の入場行進。ひたむきに取り組んだ試合。生徒は、充実した時間を過ごし、自分の成長を自覚してくれたに違いない。私たちも生徒から多くの感動をいただいた。



OHARA HIGH SCHOOL FOREVER in our heart

(副校長 上原正之 5月17日記)

## 6月は第20回男女雇用機会均等月間です！

私の本気 会社の本気 ポジティブ・アクションに取り組んでいますか？

～均等法も20歳になりました～

男女雇用機会均等法が施行されて20年目を迎え、この間に制度上の男女均等取扱いが定着しつつありますが、管理職に就く女性の割合は増加しつつも依然低い水準にあるなど男女労働者間の事実上の格差がみられるところです。実質的な男女均等取扱いを実現するためには、性別によることなく雇用管理を行うことはもとより、女性労働者が十分にその能力を発揮することができるようにするための積極的な取組(ポジティブ・アクション)を推進することが求められます。

Do! ポジティブ・アクション! 男女均等な職場をめざして取組を進めましょう。

### 男女雇用機会均等セミナー

日時 6月14日(火)午後1時30分～4時  
場所 メルパルクOKAYAMA  
岡山市桑田町1-13

主な内容 基調講演

私の本気 会社の本気 ポジティブ・アクションに取り組んでいますか? -脱皮しないヘビは死ぬ-  
(株)イーブ 代表取締役会長 杉口 正子 氏

参加料 無料

参加申込先 (財)21世紀職業財団岡山事務所  
電話086-227-2021

問合せ先 更生労働省岡山労働局雇用均等室 電話086-224-7639